

ハタチからの

子宮頸がん検診



考えよう、未来の自分へいま、できること。

子宮頸がん検診を受けましょう

Q 子宮頸がんってどんな病気？

A 子宮頸がんは、子宮の入り口付近にできるがんです。
20歳代から30歳代の若い女性に増えています！初期症状がほとんどなく、自分で気づきにくい病気です。

Q どうしてかかるの？

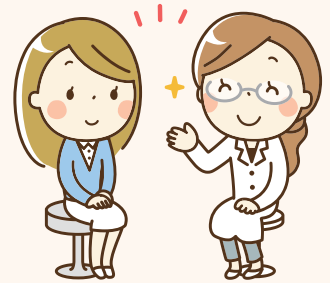
A HPV（ヒトパピローマウイルス）という性交渉で感染するウイルスが主な原因です。
性交渉の経験のある女性なら誰でも感染している可能性があります。

Q 予防や対策はあるの？

A HPVワクチンの接種でウイルスの感染を予防することが重要です。ただし、HPVワクチンで防げないタイプのウイルスもありますので、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。検診で早期に発見すれば、比較的治療しやすく予後の良いがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要です。

Q 子宮頸がん検診ってどんなことをするの？

- 対象：20 歳以上（年 1 回）
- 問診：初経年齢、月経の状況、自覚症状などを確認
- 診察：医師が子宮の大きさや形、表面の状態などを診察
- 細胞診：医師が専用ブラシを用いて子宮頸部の細胞をこすって採取します。痛みはほとんどありません。
- 結果：採取した細胞の形などを専門の技師と医師が顕微鏡で調べます。

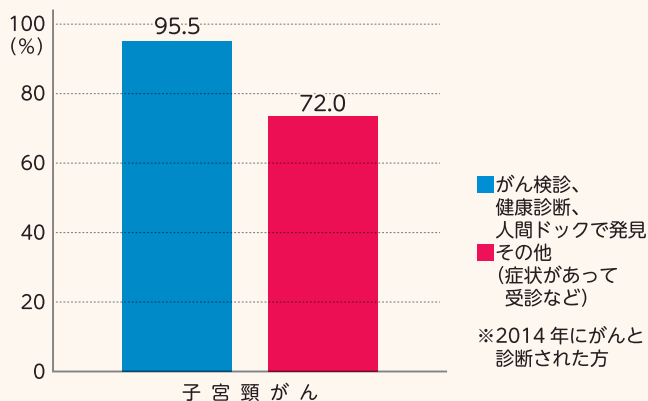


検査自体は 5 分から 15 分程度で終了します。

※検診の結果「要精密検査」と判定された場合は、必ず精密検査を受けましょう。

早期発見・早期治療により生存率は高まります

- 子宮頸がん検診と診断されてから 5 年後の生存率 (%)



出典：「茨城県地域がん登録事業」

たとえ検診でがんが見つかっても、**早期発見・早期治療**を行うことで、**5年生存率が大きく高まります。**



詳しい検診の日程や、申込み受付については、
お住まいの市町村保健センターへお問い合わせ下さい。

市町村保健センターの一覧は、
「がん検診担当窓口 茨城」で検索
または 右記 QR コードをご利用ください。

